

新潟連協 退職者の会 春夏秋冬

「親睦と交流」の更なる深化と
「会員拡大」をめざして！



山田会長挨拶要旨

2026年10月1日 第49号

J P 労組新潟連協退職者の会

〒951-8799 新潟市中央区東堀通

7 番町 1018 新潟中郵便局内

発行責任者 会長 山田 太 郎

J P 労組新潟連協退職者の会

第 1 2 回 総 会 特 集

8月7日、新潟東映ホテルにおいて、「J P 労組新潟連協協議会退職者の会第12回総会」を幹事会と支部代表を合わせて39名、来賓8名の出席により開催しました。議長に西蒲原支部・揖斐会長の選出し、山田会長挨拶の後、県退職者連合菅井事務局長、西村ちなみ衆議院議員をはじめ来賓の皆さまからご挨拶をいただきました。この後、2025年度活動報告と会計報告・会計監査報告、2026年度活動計画及び予算案を提案し、質疑では2名から要望意見を受けました。幹事会のコメントの後、

全体の拍手をもって報告事項及び各種計画は承認され、予定時刻に全ての議事を打ち上げました。交流懇親会では、51名の参加者のもとで開催しました。山田会長から総会開催の御礼挨拶の後、新潟連協保科事務局長の乾杯、その後、上越支部退職者の会会員の高峰さん（通称：ジョーク峰）から50分にわたり「トーク&マジックショー」の公演があり、多くの笑いとともに、大変に盛り上がりました。更には板倉弥彦村議から相撲甚句の披露があり、盛会の内に終了しました。

〈県知事選挙〉

各地でご支援、ご尽力をいただき感謝する。土田竜吾候補は新人ながら時間のない中で検討した。県民に信を問わず原発再稼働に踏み切った花角県政に対し、勇気と決断をもって立ち上がってくれたことに敬意を表したい。土田候補が訴え続けた志と全力を尽くして戦い抜いた熱い思いは間違いなく、これからの新潟の未来を切り拓いていく糧になっていくと確信している。

〈取り巻く情勢〉

日本退職者連合は長引く物価高騰が年金生活者を直撃していることに対し、強い危機感を抱いている。特にエネルギーや食糧品などの生活必需品と光熱費の値上がりが購買力の

低下となり、更に医療費や介護保険料などの負担増ともなれば、死活問題になってくる。この状況を鑑み、日本退職者連合は政府や各政党に対し、改善を求める緊急要請を行っていることを報告する。

〈全国総会議論〉

組織状況はこの1年間で会員が1,300人ほど減って、約5,000人となった。結成以来、12年間で約2万人の会員が減少した。要因は様々あるが、会員拡大は組織の一丁目一番地であり、引き続き現役の皆さんと連携し、取り組みを進めたい。

検討を要する課題では会費と慶弔制度に議論が集中したが、双方とも現行通りとなった。協力会員の扱いは現退両

方の組織に加入できるようJ P 労組本部と協議することを確認した。来年の総会で結論を示す扱いとなっている。

〈政治対応〉

高市内閣の支持率が顕著に下がってきた。本来なら野党が頑張らなくてはならない局面であるが、残念ながらまとまっていない。

現在、中道・立憲・公明の三党が秋の臨時国会までに、新しい体制をつくるため、8月末までの決着をめざし合流協議が進められている。非常に複雑で流動的な課題であるが、今後の協議を見守りたい。

〈平和課題〉

連合本部の平和行動で長崎に訪問する。高市早苗をはじめ、戦争を知らない世代がこの国を仕切っており、戦後81年目にして、日本は正に危うい局面を迎えている。退職者の会には、労働運動や地域運動を通じて、「平和と反戦」、「人権を守る」活動に深く関わってこられた先輩や仲間が多くいる。今回の長崎行きでは改めて平和の尊さと歴史の重みを考える機会としたい。

《 第 12 回総会・交流懇親会 来賓ご芳名 》

新潟県退職者連合	事務局長	菅井 秋彦 様
J P 労組政策議員フォーラム会長		
	衆議院議員	西村 ちなみ 様
立憲民主党新潟県総支部連合会	代表代行	
	県議会議員	大淵 健 様
新潟県労働金庫	理 事 長	山崎 雅彦 様
こくみん共済 coop 新潟推進本部	本 部 長	小野塚 豊 様
佐渡市議会議員 (J P 労組組織内議員)		中川 健二 様
弥彦村議会議員 (J P 労組組織内議員)		板倉 恵一 様
新潟市議会議員 (J P 労組準組織内議員)		高橋 聡子 様
J P 共済生協信越地方部	部 長	塚野 秀一郎 様
J P 労組信越地方本部	書 記 長	五十嵐 隆 様
J P 労組新潟連協協議会	議 長	関川 武 様
J P 労組新潟連協協議会	事務局長	保科 祐介 様

《 ジョーク峰：マジックショー 》



《 板倉村議：相撲甚句 》

一人ひとりを大切にする政治

J P 労組新潟連協退職者の会 第 12 回総会の開催をお喜び申し上げます。

山田会長をはじめ、先輩の皆さまにおかれましては、日頃から J P 労組運動とともに私の政治活動に対し格別なご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、2026 年 2 月の衆議院議員総選挙では、自民党単独で 316 議席獲得となり、私たちにとって極めて厳しい結果となりました。では選挙を通じて何が訴えられたのか。

「責任ある積極財政」への大転換とともに、自衛隊明記など 4 項目の憲法改正、国家情報局の創設なども公約に並びました。多くの政党が「国民負担を減らす」と訴えましたが、減らした分の財源をどうするのかという議論は、ほとんどなされませんでした。

そして結果として参議院で否決された法案でも衆議院で再可決できる、極めて強い権限を政府・自民党に与える結果となってしまいました。だからこそ、何が実行され、何が先送りされるのかを私たちの目でチェックしていく必要があると考えています。

先の J P 労組第 19 回定期全国大会で、2 年後の参議院議員選挙において私「しば愼一」の再選をめざすとのご決定をいただきました。J P 労組の代表、働く者・生活者の代表としてみなさまの声を政治の場に届け、J P 労組の政策を実現するために、絶対に負けられない闘いとして覚悟を持って臨んで参ります。

結びに、J P 労組新潟連協退職者の会の皆さまのご健勝とご多幸、総会のご盛会をお祈りし申し上げ、メッセージといたします。

2026 年 8 月 7 日



参議院議員 柴 愼一



長寿で健康 生き生きコーナー

小さな人間関係を大事に！

三条支部退職者の会 坂中 春信 さん（80歳）



加茂市の七谷郵便局長を永く勤められ、加茂市近郊の郷土史を研究された古川信三氏の「あれも死ぬ、これも死ぬとて数うれば数え納めはわが身なりけり」（加茂雑誌Ⅲ）よりという句があります。日常の妻との会話は新聞の記事や連絡などから、あの方が亡くなり、大事な仲間！がという話になります。

さて、皆様もそうでしょうか、私もいくつかの人間関係の会、グループに所属しています。退職者の会もそうですが、その中の気の合う近くのひととの会、老人会、菊田真紀子を支援する市議会議員の後援会など。

畑の仲間も年々広がっています。

梅干しづくりは今年、梅が豊作で195kg漬け込みました。何故こうなったかという、25年前、家内の母親が亡くなり、梅干しをどうするという事になり、道具（ざる、カメ等）があるからと始めました。チョット

迂闊でした。やめられなくなったのです。

自宅の家の庭に梅の木を植えてみると自然と「ざるやカメ」が集まってきました。何よりも人間が集まり始めました。初めの頃は10人くらい手伝いがいましたが、今年には永年手伝ってくれた1人が体調を崩し、とうとう私と家内の2人だけとなりました。その相棒（妻）も整体に通っています。



さて、今年のカメ（大小）の18個の行方は？

梅干しづくりは一人ではできません。身にあつた量を考え、これからはガンバってまいります。やはり人間は一人じゃダメで、仲間と共に生きるしかないと思います。組織を創って引っぱってもらいではなく、自分も積極的に引っぱってあと10年位は生きたいと思っています。

日本退職者連合第30回定期総会・JP労組退職者の会第12回総会

7月14日、日本退職者連合2026年全国組織代表者会議が連合会館（東京）で開催され、新潟県退職者連合を代表して山田会長が参加しました。

会議に引き続いて開催された研修会では、阿部知子前衆議院議員を講師に迎え、「内外の政治情勢について」をテーマに講演を受けました。終了後、退職者連合結成35周年を記念して全体交流会が盛大に開催されました。

翌日、第30回定期総会が産別退連、地方退連の代議員等、全国から190名が参加し開催されました。取り巻く国内外の情勢、会員の拡大、ジェンダー平等の取り組み、社会保障問題、政治情勢等について意見が出され、2026年度活動方針が承認されました。

最後は野田会長の団結ガンバローで大会を終了しました。



JP労組退職者の会「第12回全国総会」が、7月7日、ベルクラシック東京で開催され、全国から総勢70数名の地方代表をはじめ構成員が集結しました。来賓には、小沢雅仁・柴慎一両参議院議員をはじめ、安達JP労組執行委員長、野田日本退職者連合会長、増田JP共済生協理事長を迎え、激励と連帯の挨拶をいただきました。信越からは山田会長が地方代表として参加してきました。

総会の論議は、「組織慶弔制度の検討課題」、「協力会員の位置づけ」、「現退一体運動のあり方」、「役員の高齢化対応」、「次期参院選への対応」など、5人の地方代表から発言がありました。とりわけ組織慶弔制度の見直しに意見が集中し、今総会で出された意見やJP労組本部との今後の協議をふまえ、来年の総会までに一定の結論を示すことを確認しました。

定着、④政治課題の取り組み、⑤平和活動の取り組み等について。これらを受けて、5名から意見が出されました。幹事会からはもとより、花見委員長からも選挙活動、政治闘争に対する現役の決意が示され、意識統一をはかるとともに有意義な総会となりました。